簡易取り扱い説明書

FLIR T400series

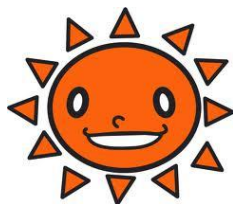
製品特長

・高速ＡＦ

・手になじむエルゴノミクス設計

・撮影の負担を減らすチルトレンズ

①注意事項

①・太陽や高出力レーザーを見ない

素子が焼けつき、温度測定ができなくなります。
また素子の焼きつきについては
保証範囲外となりますので、ご注意ください。

②・取扱い

・持ち運び時はレンズカバーを閉める
・レンズは直接触らない、濡らさない
・カメラ使用時はストラップをつける

③・詳しい取扱説明書

付属ＣＤ－Ｒ「user documentation」を参照
①user documentフォルダを開き
②Ｊａｐａｎｅｓｅを選択
③Ｍａｎｕａｌ　ｊを選択

カメラの使用準備

初めて使うのに必要な作業です。
充電、ＳＤカードを取り付けます。

A・充電する

バッテリースタンドを使用するかＡＣアダプタのジャックをバッテリのコネクタ部に差し込んで充電します

＊充電時間、動作時間ともに約４時間です

B・バッテリをセットする

カメラ下部にあるカバーを開けてバッテリをセットします

C・ＳＤカードをセットする

カメラ下部のカバーを開けてＳＤカードをセットします
（ＳＤカードはＬＣＤディスプレイ下部のカバーを開けます）

カメラの使い方-1

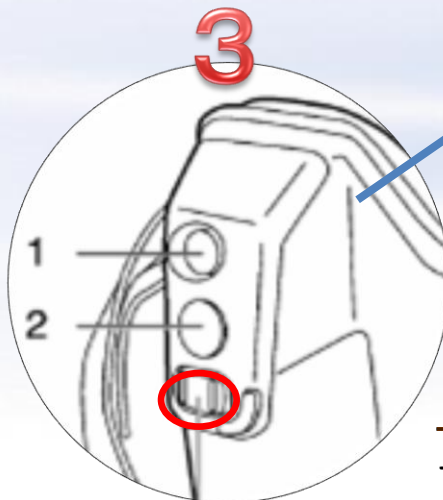
カメラ本体の操作で使用するボタンや操作を説明しています

A・撮影する

「1」電源ボタンを押す

「2」シャッターボタンを半押ししてフォーカスを合わせた後、シャッターボタンを下まで押しこみ、撮影する。

＊精度の高い撮影を行うには
放射率の設定が必要です。
簡単な説明は「カメラの使い方-4」
詳しくは付属CD－R
Ｕｓｅｒ　Ｄｏｃｕｍｅｎｔの
「赤外線について」を参照して下さい

1
2
3
1
2

B・フォーカス調整

マニュアルでフォーカス調整するにはシャッターボタンの下にあるフォーカス調整ボタン「3」を左右に押します

カメラの使い方-2

よく使う

ボタンや操作を説明しています

A・ボタン機能

「1」メニューを呼び出し

（パレット色・放射率等の変更ができます）

「2」撮影モード切り替え（可視・赤外・混合等）

「3」測定モード切り替え（手動・自動モード）

「4」アーカイブボタン（画像閲覧）

＊操作例：パレット色変更

「1」のメニューボタンを押す

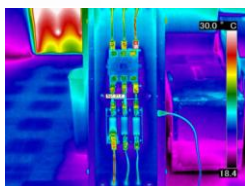
画面左端にアイコンが表示されます

「パレット」のアイコンを選択し

ジョイスティックを押す

表示されるパレット色から任意の色パレットを

ジョイスティックで選択する

アイアン色　　レインボー色

B・カメラの機能について

Ｔ４００シリーズでは、良く使う機能はボタンが割り当てられています。

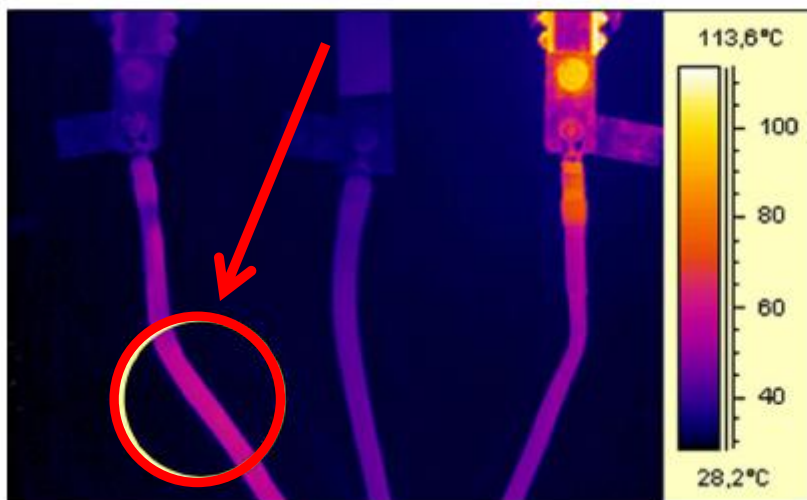
初期設定など使用頻度の低い機能は、メニューボタン内の「設定」メニューで設定します。

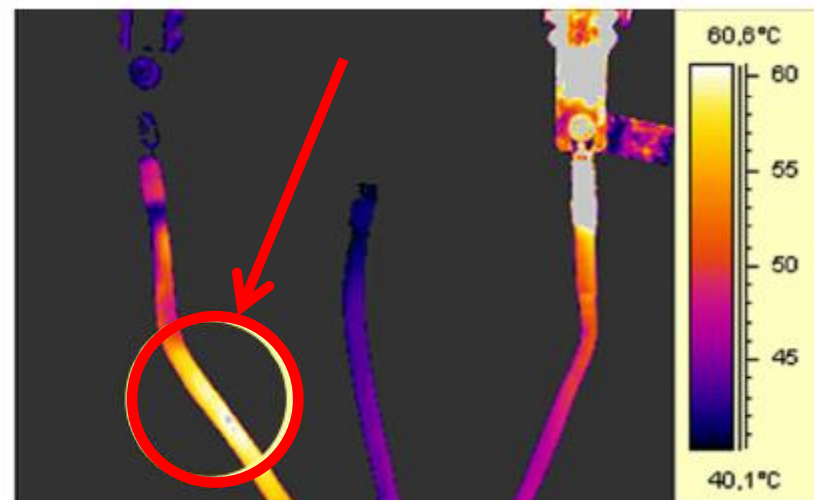
メニューの選択や移動はジョイスティックか、タッチパネルによる入力を選択できます

カメラの使い方-3

測定モードの違いによる
見え方の差と操作方法を説明します

自動モード

自動的に被写体の最高、最低の温度を感知して
最適な測定温度範囲をカメラが設定します
（下の画像では異常の判定がわかりにくい）

マニュアルモード

ユーザーの設定した温度範囲で表示します
（自動モードで分かりにくい発熱分布がマニュアル
モードではわかりやすくなった）

設定の仕方

「1」を押してジョイスティックで手動、自動を選択します

自動：カメラが自動で温度レンジを設定

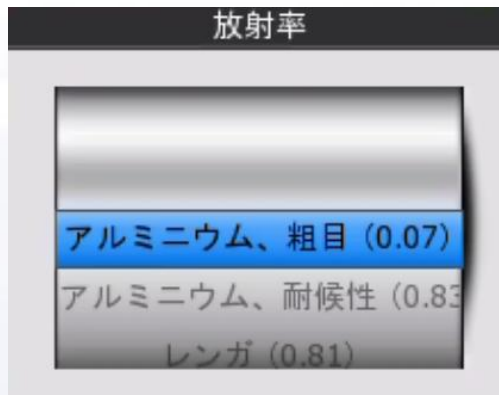
手動：温度レンジを手動で設定する

カメラの使い方-4

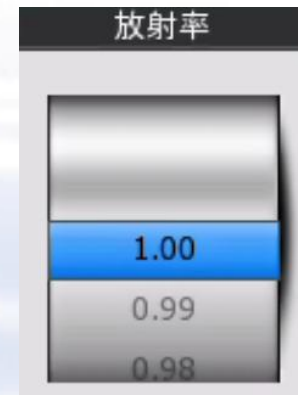
精度を高めて測定する際に
必要な設定を説明します

放射率の簡単な設定

被写体の材質から、プリセットされた
項目を選択すると放射率が決定されます

放射率
アルミニウム、粗目（0.07）
アルミニウム、耐候性（0.83
レンガ（0.81）

詳細な設定

被写体の材質か、マニュアルで
放射率を設定します

放射率
1.00
0.99
0.98

放射率について

精密な温度計測を行うには放射率と反射率が測定結果に与える影響を理解する必要があります。
一般的には物質の表面粗さが放射率を左右し、光沢のないものは（マット・表面がざらついている）
測定が容易で　　光沢のあるもの（光沢・表面がなめらか）は測定が難しくなります。

設定の仕方

「1」メニューボタンを押す⇒「パラメータ」を選択⇒「放射率」か「放射率表」を選択する